



2027年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年9月14日

上場会社名 Hamee株式会社
 コード番号 3134
 代表者(役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者(役職名) 経営企画部マネージャー
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 URL <https://hamee.co.jp/>
 (氏名) 水島 育大
 (氏名) 國井 俊樹 (TEL) 0465-25-0260
 (2026年9月15日に当社ウェブサイト
 (<https://hamee.co.jp/ir/library/video>) にて決算概
 要を説明した動画を掲載する予定です。)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年4月期第1四半期の連結業績(2026年5月1日～2026年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年4月期第1四半期	4,610	△12.9	△14	—	△12	—	59	133.0
2026年4月期第1四半期	5,290	15.5	171	△23.4	94	△51.7	25	△74.6

(注) 包括利益 2027年4月期第1四半期 82百万円(△56.7%) 2026年4月期第1四半期 191百万円(△23.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年4月期第1四半期	3.75	—
2026年4月期第1四半期	1.61	1.61

(注) 2027年4月期第1四半期につきましては、NE株式会社の連結除外による構造的な減少が含まれております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年4月期第1四半期	14,123	6,979	49.4
2026年4月期	13,574	7,319	53.5

(参考) 自己資本 2027年4月期第1四半期 6,979百万円 2026年4月期 7,256百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年4月期	—	0.00	—	22.50	22.50
2027年4月期	—	—	—	—	—
2027年4月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年4月期の連結業績予想(2026年5月1日～2027年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,817	3.4	502	△48.9	369	△51.5	230	△57.4	14.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は年次で業績管理を行っているため、業績予想につきましては通期のみの記載となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年4月期1Q	16,328,100株	2026年4月期	16,328,100株
② 期末自己株式数	2027年4月期1Q	327,099株	2026年4月期	327,099株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年4月期1Q	16,001,001株	2026年4月期1Q	15,954,966株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、6月の日銀短観によると大企業の業況判断D I（最近）が、半導体関連需要や内外の堅調な設備投資を背景に製造業で改善したほか、非製造業においても底堅い個人消費やインバウンド需要に支えられ、小売や宿泊・飲食サービスを中心に改善しました。一方で、中東情勢を背景とした原油価格の上昇や物価高の長期化、人手不足感の強まりといった下押し材料から、先行きの業況判断D Iは製造業・非製造業ともに悪化見込みとなっており、企業の景況感は慎重さを残す状況が続いております。

このような経営環境の下、当社グループにおきましては、2026年6月15日に公表した中期経営計画（2027年4月期～2029年4月期）の初年度として、ブランドを軸とした既存事業の成長に加え、新カテゴリーへの事業領域の拡張、海外展開の加速、ならびに限界利益率や在庫効率の改善による収益基盤の強化に取り組んでおります。当第1四半期連結累計期間の経営成績の概要は、次のとおりとなりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「コマース事業」及び「プラットフォーム事業」の2区分から「コマース事業」の単一セグメントに変更しております。以下の事業別概況は、コマース事業を構成する事業区分ごとの情報として記載しております。

① 事業別概況

a. モバイルライフ事業

主力ブランド「iFace」を核とするスマートフォンアクセサリ市場におきましては、競合ブランドの台頭等によりECを中心に競争が激化する環境が継続いたしました。このような環境下において当社は、中期経営計画に掲げる「総合モバイルブランド化」の方針のもと、「Reflection」をはじめとする定番シリーズを最新機種から旧機種まで幅広い対応機種で展開するとともに、単価の高いMagSafe対応モデルへの構成シフトが進展いたしました。また、ケースシリーズ「BeBling」や人気IPとのコラボレーション商品も堅調に推移したほか、カテゴリー拡張の取り組みとして初めて投入したポータブルファンが完売するなど、新カテゴリーの立ち上がりも順調に進捗いたしました。成長領域と位置づける通電（充電・電源）カテゴリーにおきましては、秋の新型スマートフォン発売にあわせた新商品の開発および供給体制の構築を進めております。これらの結果、EC・卸販売ともに前年同期を上回り、売上高は前年同期比5.8%増となりました。

b. ビューティー事業

ビューティー事業の主力ブランド「ByUR（バイユア）」は、ルースパウダーやクッションファンデーションをはじめとするベースメイクカテゴリーを中心に、ドラッグストア等での取扱店舗の拡大が進み、引き続きトップラインを力強く牽引いたしました。また、主力のクッションファンデーションを刷新し、店頭在庫の入れ替えを計画的に実施するとともに、7月には新製品発表会を開催し、9月発売予定の秋の新商品の上市準備を進めました。あわせて、新ブランド「ByGLOW（バイグロー）」の記者発表を実施するなど、複数ブランド体制の構築に向けた先行投資を継続いたしました。これらの結果、EC・卸販売ともに好調に推移し、売上高は前年同期比51.0%増となりました。

c.ゲーミングアクセサリ事業

「Pixio（ピクシオ）」を展開するゲーミングアクセサリ事業におきましては、大手メーカーの値下げをはじめとする厳しい価格競争環境が継続し、ゲーミングモニターの販売が減少いたしました。このような環境下において当社は、中期経営計画に掲げる「空間全体のトータルコーディネート提案」へのシフトを推進いたしました。ホワイトやカラフルなデザイン展開が支持されるモニターアームは、Amazon Prime Dayを中心に販売を大きく伸ばし、7月には当社の商品カテゴリー別の販売点数で初めて最多となったほか、デスク・チェアといった家具領域やケーブル等の周辺アクセサリへのカテゴリー拡張も着実に進み、モニター単体に依存しない事業構造への転換が進展いたしました。また、曲面モニターやクリエイターコラボレーション商品等の新商品を投入し、「自分だけの理想のデスク環境を叶える」ライフスタイルブランドへの進化に向けて、プロダクトポートフォリオの拡充を進めました。これらの結果、売上高は前年同期比15.2%減となりました。

d. グローバル事業

グローバル事業におきましては、韓国・米国・中国の三極を軸に、自社ブランドの海外展開と生産・供給体制の強化を推進いたしました。韓国では、日本国内向け商材の生産・供給において、スマートフォンアクセサリに加えコスメティクスの供給が大きく拡大いたしました。現地では、EC・卸販売が前年同期を上回ったほか、前期に販売を開始したゲーミングモニターの販売を継続いたしました。米国では、関税政策の動向等の不確実性が継続する中、オタマトーンをはじめとする取扱商材やコスメティクスブランドの現地販売を継続し、自社ECサイトおよび大手ECモールでの販売が伸長した一方、卸販売は、前年同期に関税の適用を見据えた取引先による仕入れの前倒しがあった反動等により減少いたしました。中国では、広告宣伝の強化や人員体制の整備を進め、ECモールを通じた販売が増加いたしました。これらの結果、グループ外部への販売は各拠点で前年同期を上回りました。しかしながら、主として日本国内向け供給の拡大に伴い連結調整（グループ内取引の消去）が増加したことにより、当事業の売上高（グループ内取引に係る連結調整を含む）は前年同期比12.6%減となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は4,610,104千円（前年同期比12.9%減）、営業損失は14,854千円（前年同期は営業利益171,030千円）、経常損失は12,722千円（前年同期は経常利益94,749千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は59,990千円（前年同期比133.0%増）となりました。

なお、上記の前年同期比における前年同期の業績には、2025年11月1日付で連結子会社から除外したNE株式会社の業績も含まれております。

② 各段階利益について

a. 営業損益

営業損益につきましては、前年同期との比較では、当社の連結子会社でありましたNE株式会社が株式の現物配当（株式分配型スピノフ）により連結の範囲から除外されたこと等により、営業損失となりました。同社を除いた継続する事業は、前年同期も営業損失でした。継続する事業におきましては、モバイルライフ事業、ビューティー事業、ゲーミングアクセサリ事業、グローバル事業のいずれも利益を確保いたしました。売上高が年間で最も小さい第1四半期は、下期の商戦に向けた広告宣伝費・販売促進費や取扱店舗の拡大に伴う物流費が先行した結果、営業損失となりました。前年同期との比較では、ビューティー事業の黒字転換や米国子会社における米国輸入関税の一部還付に伴う売上原価の減少により損益が改善し、営業損失は14,854千円となりました。継続する事業は前連結会計年度においても通期では営業利益を計上しており（NE株式会社を除く参考値）、当連結会計年度も売上高が集中する下期に利益を積み上げ、通期で営業利益を確保する計画であります。

b. 経常損益

経常損益につきましては、前年同期との比較では、上記のNE株式会社の連結除外をはじめとする営業損益の減少を主因として、経常損失となりました。営業外損益につきましては、支払利息や持分法による投資損失を計上した一方、為替差益等の営業外収益がこれらを上回り、経常損失は12,722千円となりました。

c. 親会社株主に帰属する四半期純利益

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期との比較では、上記の営業損益および経常損益の減少要因（NE株式会社の連結除外等）を反映した一方、第5回新株予約権の権利行使期間満了に伴う新株予約権戻入益を特別利益に計上したことに加え、法人税等調整額の影響により法人税等合計がマイナスとなったことから、59,990千円（前年同期比133.0%増）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第 1 四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末と比べ549,413千円増加し、14,123,892千円となりました。これは主に、売掛金が307,655千円減少した一方で、その他の流動資産が449,615千円増加したこと、商品が335,319千円増加したこと、現金及び預金が153,090千円増加したことなどの結果によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べ890,215千円増加し、7,144,877千円となりました。これは主に、短期借入金が600,000千円増加したこと、買掛金が279,209千円増加したことなどの結果によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ340,802千円減少し、6,979,015千円となりました。これは主に、利益剰余金が300,032千円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2026年 6 月15日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年 4 月 30 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (2026年 7 月 31 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,812,064	1,965,155
売掛金	2,129,599	1,821,943
商品	4,261,730	4,597,050
仕掛品	2,330	3,029
原材料及び貯蔵品	159,427	229,591
その他	1,964,877	2,414,492
貸倒引当金	△154,362	△155,893
流動資産合計	10,175,668	10,875,370
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	810,938	817,577
減価償却累計額	△268,619	△286,122
建物及び構築物（純額）	542,319	531,455
車両運搬具	6,662	6,662
減価償却累計額	△3,576	△3,909
車両運搬具（純額）	3,086	2,753
工具、器具及び備品	1,078,430	1,104,776
減価償却累計額	△799,765	△857,961
工具、器具及び備品（純額）	278,665	246,815
使用権資産	934,122	939,296
減価償却累計額	△266,041	△330,839
使用権資産（純額）	668,081	608,456
土地	345,658	345,658
有形固定資産合計	1,837,810	1,735,139
無形固定資産		
のれん	183,851	157,587
ソフトウェア	48,861	44,583
商標権	24,142	23,512
その他	67,516	68,778
無形固定資産合計	324,372	294,461
投資その他の資産		
投資有価証券	10,818	10,818
関係会社株式	444,219	434,763
長期貸付金	12,128	11,542
退職給付に係る資産	140,513	114,502
繰延税金資産	487,596	510,672
その他	164,550	159,544
貸倒引当金	△23,199	△22,922
投資その他の資産合計	1,236,628	1,218,921
固定資産合計	3,398,810	3,248,522
資産合計	13,574,479	14,123,892

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年 4 月 30 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (2026年 7 月 31 日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	283,103	562,313
短期借入金	4,100,000	4,700,000
未払金	743,070	750,165
未払費用	177,066	185,660
リース債務	215,940	189,002
未払法人税等	12,556	15,142
賞与引当金	—	18,226
その他	68,708	107,365
流動負債合計	5,600,447	6,527,875
固定負債		
リース債務	544,591	507,799
資産除去債務	22,165	22,165
その他	87,458	87,037
固定負債合計	654,214	617,001
負債合計	6,254,661	7,144,877
純資産の部		
株主資本		
資本金	635,617	635,617
資本剰余金	589,001	589,001
利益剰余金	5,973,921	5,673,889
自己株式	△314,957	△314,957
株主資本合計	6,883,583	6,583,550
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	372,516	395,464
その他の包括利益累計額合計	372,516	395,464
新株予約権	63,717	—
純資産合計	7,319,817	6,979,015
負債純資産合計	13,574,479	14,123,892

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2025年 5 月 1 日 至 2025年 7 月 31 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2026年 5 月 1 日 至 2026年 7 月 31 日)
売上高	5,290,462	4,610,104
売上原価	2,274,861	1,670,638
売上総利益	3,015,600	2,939,466
販売費及び一般管理費	2,844,570	2,954,320
営業利益又は営業損失 (△)	171,030	△14,854
営業外収益		
受取利息	518	9,790
為替差益	—	19,897
その他	19,616	14,782
営業外収益合計	20,134	44,470
営業外費用		
支払利息	14,191	22,955
支払保証料	1,684	1,787
持分法による投資損失	62,599	17,283
為替差損	17,171	—
その他	768	311
営業外費用合計	96,415	42,338
経常利益又は経常損失 (△)	94,749	△12,722
特別利益		
固定資産売却益	1,757	—
新株予約権戻入益	—	63,717
特別利益合計	1,757	63,717
税金等調整前四半期純利益	96,506	50,995
法人税、住民税及び事業税	132,661	15,556
法人税等調整額	△61,905	△24,551
法人税等合計	70,756	△8,995
四半期純利益	25,750	59,990
親会社株主に帰属する四半期純利益	25,750	59,990

四半期連結包括利益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2025年 5 月 1 日 至 2025年 7 月31日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2026年 5 月 1 日 至 2026年 7 月31日)
四半期純利益	25,750	59,990
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	165,580	22,948
その他の包括利益合計	165,580	22,948
四半期包括利益	191,330	82,938
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	191,330	82,938
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年5月1日 至 2025年7月31日)

当社グループは、「コマース事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年5月1日 至 2026年7月31日)

当社グループは、「コマース事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「コマース事業」及び「プラットフォーム事業」の2区分から、「コマース事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、前連結会計年度において、2025年11月1日付の株式分配型スピンオフにより、連結子会社であったNE株式会社を連結の範囲から除外したことにより、「プラットフォーム事業」を行っている会社が当社グループ内に存在しなくなったこと、また、事業セグメントについては識別せず、報告セグメントを単一セグメントとして開示することが、当社グループの事業実態及び意思決定プロセスをより適切に反映するものと判断したことによるものであります。

この変更により、当社グループは「コマース事業」の単一セグメントとなることから、前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年5月1日 至 2026年7月31日)
減価償却費	179,228千円	159,423千円
のれんの償却額	26,064	26,690